

150年前、新橋駅で「東京日日新聞」が売られていた！

三代歌川広重画「東京汐留鉄道館蒸気車待合之図」から新聞売り場の部分だけ拡大したものである。

「日々新聞」は、むろん毎日新聞の前身「東京日日新聞」の新聞スタンドだ。

港区立郷土歴史館（東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金台駅」下車2分）で開かれている「鉄道開業150周年記念 人物でみる日本の鉄道開業」で見つけた。18日（日）まで。

絵全体は以下である。

華やかですね。これは開業翌年の風景ですが、男も女もよそ行きの格好をしています。和装あり、洋装あり。新聞も売っていたのだらう。



新橋—横浜間に初めて鉄道が開通したのと、「東京日日新聞」が創刊したのは、同じ明治5年、西暦で1872年である。

(堤 哲)